



地域ぐるみ!次へ!

地域ぐるみ環境ISO研究会 設立20周年



「地域ぐるみ!次へ!」と題した「地域ぐるみ環境ISO研究会」の設立20周年記念式典が12月13日(火)15時から飯田人形劇場で行われました。参加された多くの方から「感動」とい言葉をいただきました。何よりも参加者を第一に考えた手作りの式典とすることを旨しました。実質150分、与えられた役割以上にそれぞれが気配りを持って関わり素晴らしいイベントになりました。

地域ぐるみ環境ISO研究会 20周年記念イベント
開会 15時
20年の振り返り
検証レポート
記念誌の紹介 (休憩)
環バック贈呈式
南信州いいむす21交付式
リレートーク①②③
代表ハトタッチ
閉会 ▶ 記念写真撮影

参加者は100人、研究会参加事業所の代表者と実務者、「南信州いいむす21」取組事業所関係者、そして私たちのこの企画への支援者です。参加者全員で作りに上げた式典です。右壁に映した次第と写真により式典を振り返ります。説明不足は皆さんの想像で補っててください。



受付で



ぐるみ
アゲザラー



司会は
羽生さん

開会宣言



田中
副代表

研究会20年の 振り返り(約10分)



スクリーンに



「ぐるみ通信」創刊 2001



多くの
受賞も

△トス飯田賞 2015

20年の振り返りは懐かしい昔の画像(亡くなってしまった人の)も含め100枚近いスライドをアンドレギニオンのBGMでテンポよく映し出しました。会議の様子・ぐるみ通信001号と最新の348号・事業所見学会・環境イベント参加・南信州いいむす21・環境講座・温室効果ガス削減プロジェクト こんな取組も・懇親会・表彰といった区分で。研究会20年の長さを感じました。

「南信州・飯田市における持続可能な地域産業社会の形成から学ぶ 地域ぐるみ環境ISO研究会の20年とこれから」
早稲田大学大学院 松岡俊二教授

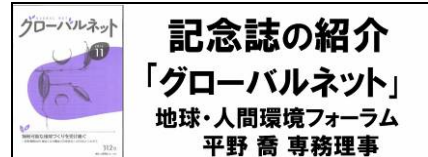


松岡
教授

今後の飯田市、環境ISO研究会のあり方

- 論 点
1. パリ協定により世界は、低炭素から脱炭素へと動きつつある中、飯田市は今後、低炭素社会形成をどのようにとらえていくのか?
 2. 持続可能な社会形成に向けた日本モデルの自然共生社会および循環型社会形成の取り組みとどのように連携していくのか?
 3. 産業活動に加えて、市民社会の取り組みをどのように連携するののか?
公民館活動やおひさまファンドの取り組み
→低炭素モデル都市の2本柱の間の連携は必ずしも連動していないのではないか
 4. 持続可能な社会を見据えたときに、「環境」「社会」「経済」のうち、自立した経済をどのように形成していくのか?
- 低炭素化と産業成長の両立、「環境文化都市」と「文化経済自立都市」
- 雇用創出・若者の定着

研究会を調査して外の目で検証してくれた早稲田大学大学院松岡教授。プロジェクトメンバー3人と一緒に参加、直前まで発表資料を手直しし研究会のあり方について4つの視点で提案してくれました。



記念誌の紹介

「グローバルネット」
地球・人間環境フォーラム
平野 喬 専務理事



平野専務

月刊機関誌「グローバルネット」で研究会20周年特集を組んでくれた地球・人間環境フォーラム専務理事の平野さんは中村研究員とともに参加。飯田ファンの平野さん 萩本代表へのインタビュー秘話?を紹介し代表の研究会の凄さを教えてくれました。

「環バック」贈呈式

南信州レジ袋削減推進協議会
助成 長野県環境保全協会飯田支部
飯田市



プロジェクトメンバー



旅立っても
忘れないで
ふるさと飯田へ
戻ってきてほしい



萩本代表から

「南信州いいむす21」 更新登録証交付式

南信州広域連合



牧野連合長から



リレートーク①

飯田OIDE
長姫高等学校



取組の発表

飯田OIDE長姫高校生徒の6人、「環バック」贈呈、広域連合からの「南信州いいむす21」登録証の交付、リレートークと続きました。まさしく「地域ぐるみ！次へ！」を参加者にはっきりと伝えられたと感じています。「環バック」贈呈式は担当の女性の実務者で進められました。「環バック」の名に込められた熱い思いメッセージが何よりも「次へ！」生徒の皆さんに届きますように...



リレートーク②

牧野光朗
飯田市長



牧野市長

牧野市長はりんご並木が飯田のまちづくりの原点であり、この地域ぐるみの研究会がこの地域の環境活動の原点であると、そして環境だけにとどまらず新しい産業創出など経済における発火点となったと。

脱炭素に向け考え次への行動のため引き続き萩本代表に関わりを



リレートーク③

萩本範文
研究会代表



萩本代表

20年ずっと代表として研究会に関わってきた萩本代表のトークは、研究会の設立から今、これからの参加者にわかりやすく伝えました。

きみまる風「あから20年」から始まり、実務者・代表者への感謝、新代表に対する支援と、都会との共存の課題のなか住みよ！地域の発展に研究会が寄与してほしいと締めました。萩本代表のトーク30分、7千字全文は研究会ホームページに掲載します。地域に環境に研究会に対する萩本代表の強い思いと戦略、伝わってきます。ぜひ、ご覧ください。



感謝状が



次第にもなく全くのサプライズとして会場の賛同を得て読み上げて贈られたのは事務局沢柳さんへの感謝状でした。いやぁ感動でした。



研究会代表
バトンタッチ



固い握手



森岡さんから

新代表 決意表明

関重夫 研究会新代表



関新代表

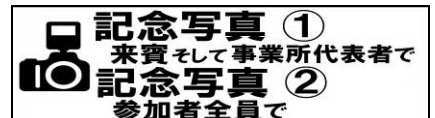
13年前の環境イベントで使ったどんぐりを植え育った木で作った席札での新代表へのバトンタッチ、固い握手、感謝を込めた花束贈呈。

関新代表からの決意表明は用意したものを使わずに式典全体から感じとった心温まる心強い言葉...

閉会宣言



大長
副代表
(代読)



記念写真 ①
来賓そして事業所代表者で
記念写真 ②
参加者全員で



最後にステージ上で参加者全員で集合写真。同じ時間を共有し作り上げた感動の中、全員がひとつになることができたと感じました。研究会の「次へ！」が始まりました。

【ご意見、お問合せ】【配信解除】
沢柳俊之(多摩川精機株) 研究会事務局
toshiyuki-sawayanagi@tamagawa-seiki.co.jp
小林敏昭(飯田市役所) 研究会事務局
kobayashi.toshiaki@city.iida.nagano.jp